

**ES/1 NEO**

MFシリーズ

**V05L23R2**

**Release News Letter**

# 富士通XSPシステム

## 目次

### 【お知らせ】

ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて  
PC製品環境 サポート終了のお知らせ

### 【HOST】

資源使用量比較一覧



株式会社 アイ・アイ・エム

本リリースニュースレターは、V05L23R2 のリリース内容をまとめたものです。過去のリリース内容につきましては、プロダクトメディア(x:¥Rnl)内のレターをご参照ください。

# 改版履歴

---

日付	版数	内容
2026/4/27	1	V05L23R2 リリース

# ES/1 NEO MFシリーズのサポートについて

各バージョンの通常サポート期間はリリースより30ヶ月間です。

バージョンはバージョン、レベル、リビジョンからなり、レベルを基準とします。後継リビジョンのリリースに伴い、旧リビジョンのサポートは延長されます。



図. 製品ライフサイクルのイメージ

## <バージョン（バージョン・レベル・リビジョン）の確認方法>

ES/1 実行ログにて確認できます。

例) V05L23R1 の場合

**V 0 5 L 2 x R x**

バージョン レベル リビジョン

```
LICENSEE ----- TRIAL USER
EXPIRATION DATE ----- 2050/12/31
VERSION/LEVEL/REVISION --- 05.23.02
```

## <今後のサポート予定>

今後のサポート期間について、お知らせします。

バージョン	リリース時期	サポート終了予定時期
V05L23R2	2026年4月	2028年10月31日
V05L23R1	2026年3月	2028年10月31日
V05L22R3	2025年8月	2028年2月29日
V05L22R2	2025年2月	2028年2月29日
V05L22R1	2024年2月	2028年2月29日

## <通常サポート中とサポート終了後の違い>

サポート終了後のバージョンも継続してご利用いただけます。

但し、不具合に対応した修正パッチは、最新リリースまたはサポート期間中のバージョンに対してのみの提供となります。サポート終了後のバージョンをご利用中に発生した不具合の対応については、原則として最新バージョンに対応した修正パッチを提供させていただきます。

	サポート期間中	サポート終了後
当該バージョンの継続使用	可	可
製品の使用方法に関するご質問	可	可
不具合発生時の調査	可	可※
不具合修正パッチの提供	可	不可

※ナレッジベースでの調査となります。

## <バージョンアップのお願い>

通常サポート期間を終了したバージョンについては、限定的なサポートのみの提供となります。最新バージョンへのバージョンアップのご検討をお願いいたします。

# PC製品環境 サポート終了のお知らせ

現在、MF-eASSIST でサポートしています次のオペレーティング・システム、アプリケーションを、下記の期日でサポート終了とさせていただきます予定です。

## <サポート終了オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10                      サポート終了時期：2026年10月末

## <サポート終了アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016      サポート終了時期：2026年10月末

Microsoft® Excel2019 / Word2019      サポート終了時期：2026年10月末

V05L23R1 では、MF-eASSIST の対象環境は次の通りとなります。

## <オペレーティング・システム>

Microsoft® Windows® 10                      (2026年10月末まで)

Microsoft® Windows® Server 2016

Microsoft® Windows® Server 2019

Microsoft® Windows® Server 2022

Microsoft® Windows® Server 2025

Microsoft® Windows® 11

## <アプリケーション>

Microsoft® Excel2016 / Word2016      (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2019 / Word2019      (2026年10月末まで)

Microsoft® Excel2021 / Word2021

Microsoft® Excel2024 / Word2024

Microsoft® 365 Apps (Office®365)

Microsoft Edge

Google Chrome

.NET Framework 4.6.2 以上

# 資源使用量比較一覧

本資料は、ES/1 NEO MFシリーズ V05L23R2 と、以前のリリース（V05L23R1）との資源使用量比較一覧です。  
各項目の意味は以下の通りです。

CPU		以前のリリースと比較し、CPU時間が1割以上増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。
STG	本体	以前のリリースと比較し、使用仮想記憶域が増加した量を示します。 この結果は、入力されるデータには関係ありません。
	データ	以前のリリースと比較し、上記本体の増分以上に使用仮想記憶域が増加することがある場合、●としています。 この結果は、入力されるデータにより異なります。

		V05L23R2 vs V05L23R1		
		CPU	STG	
			本体 (KB)	データ
MF-XSP	CPECNVRT	—	0	—
	CPEXSPCV	—	0	—
	CPEPRT00	—	0	—
	AIMPRT00	—	0	—
	AIMTRC00	—	0	—
	JOBDSN00	—	0	—
	HIB1CHKO	—	0	—
	AVMPRT00	—	0	—
MF-MAGIC for XSP	CPEDBAMS	—	0	—
	BOXSYS00	—	0	—
	BOXAIM00	—	0	—
MF-SCOPE for XSP	JOBEXE00	—	0	—
	JOBTRC00	—	0	—
	JOBGRPO0	—	0	—
	JOBXSPM0	—	0	—
	JOBRDB00	—	0	—
MFシリーズ 支援ライブラリ	CPEDASDO	—	0	—
	PAGPRT00	—	0	—
MF-eASSIST	PNAVICEC	—	0	—
	PNJOBXSP	—	0	—
	PNAVIVSP	—	0	—

※本体の使用仮想記憶域の増加が大きい場合、該当の箇所の色を付けて表示します。

例.	MF-XSP	CPEPRT00	—	124	—
		AIMPRT00	—	4	—

- 注意：(1) 本資料は弊社環境（IBM環境）での結果に基づいています。環境により異なる場合がありますので、参考資料としてください。  
(2) 実行時に仮想記憶領域不足が発生する場合、OVER16機能をご使用ください。  
(3) CPECNVRTへの先行更新をCPEXSPCVにも反映した為、CPEXSPCV本体の使用量が増加しました。

【OVER16機能 指定方法】 実行するプロセッサのJCLに次のような指定を追加してください。  
REGIONサイズの指定は、お客様の環境に応じて変更してください。

¥CPESHELL EX CPESHELL, RSIZE=64M, OPT=DUMP	<=追加・変更
¥PRGLIB FD PRGLIB=DA, FILE=CPE. LOAD	
¥SYSPRINT FD SYSPRINT=DA, VOL=WORK, TRK=(5, 1), SOUT=OUTCLASS	
¥PARA PARM	<=追加
¥CPEPARM FD CPEPARM=*	<=追加
OVER16=CONVERTWORK	<=追加
OSTYPE=XSP	<=追加

OVER16機能の詳細につきましては「ES/1 NEO MFシリーズ 使用者の手引き 共通編（IBM / 富士通 / 日立システム）」  
'3.3.2 OVER16機能'をご参照ください。